

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学特別演習第二		
英文授業科目名	Advanced Studies in Applied Physics and Chemistry 2		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	通年	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	4
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>将来、各専門分野の第一線において研究および開発をリードできる研究者・技術者となるために、より高度な学力と知識を身に付け考察力および洞察力を深めなければならない。本特別演習では、各自の研究結果や関連する分野の研究報告について発表し検討を重ねさらなる研究の進展を図る。関連する問題演習とあわせて問題を分析・解決する能力を高める。また表現能力・討論能力の向上も目標とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

各所属研究室や研究グループにおいて、各自の研究成果の検討、関連する研究報告のリサーチ内容の検討、研究テーマに関連する問題演習等を行う。その実施方法については各指導教員より指示される。

本専攻では、量子・物質工学特別演習第二の一部として、1年次学生には、「特別セミナー」が、2年次学生には「量子・物質工学特別実験第二の進捗状況の発表」が課せられる。

「特別セミナー」は、各学生が専門に関連した分野のレビュー等を専攻内の学生に対して行うもので、専門能力の深化とともに幅広い素養を修得するためのものである。

「量子・物質工学特別実験第二の進捗状況の発表」は、発表及び質疑応答を通じて、より完成度の高い博士論文作成を目指すものである。

「特別セミナー」と「量子・物質工学特別実験第二の進捗状況の発表」の実施方法等については、ガイダンス及び掲示により指示する。

なお本科目は1年次から修了年次にわたって履修すべき必修科目である。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

発表等の内容、理解度、質問、討論を通じた当該学生の達成度を勘案して評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

各指導教員が担当する。

### 【学生へのメッセージ】

(例)

「もの作り」にたずさわる人にとっては勿論のこと、たとえハードウェアを扱わなくてもシステムの動作原理を理解し、発展させるためには、電子回路の基本を十分理解している必要がある。授業中に一つずつしっかり理解していけば、難しい内容ではない。

### 【その他】